

**令和５年度第３次豊川市役所地球温暖化対策実行計画
進捗状況の結果（報告）
令和６年１１月**

産業環境部環境課

本市では、豊川市環境基本計画に基づき、事業者の立場から平成２３年２月に豊川市役所地球温暖化対策実行計画を策定し、環境負荷の低減と地球温暖化防止に向けて、温室効果ガスの総排出量の削減に取り組んできました。平成２７年３月には第２次豊川市役所地球温暖化対策実行計画（以下、「前計画」という。）を策定し、平成２５年度を基準年度とし、目標年度（令和２年度）に温室効果ガスの総排出量を６％削減することを目指して取り組みました。

第３次豊川市役所地球温暖化対策実行計画は、前計画の後継計画として令和３年３月に策定しました。計画の期間は令和３年度から令和７年度までの５年間で、温室効果ガス総排出量の削減目標は引き続き平成２５年度を基準年度とし、毎年度１％以上の削減を目標に掲げ、令和７年度に１１％削減することを目指しています。

さらに、個々の職員が率先して取り組むべき環境行動を「豊川市役所エコ・アクション」と位置づけ、職員研修等を積極的に実施し、環境モラルの向上による地球温暖化防止に取り組みました。

＜数値目標＞

●温室効果ガスの総排出量に関する目標

※温室効果ガス：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等7種類

(このうち本市での削減対象ガスは二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素とする)

項 目	基準年度 (平成 25 年度)	目標年度 (令和 7 年度)	増減率
温室効果ガス総排出量 (t-CO ₂)	3 4, 7 5 4	3 0, 9 3 1	－ 1 1 %

●具体的取り組みに関する目標

項 目	前年度 (令和 4 年度)	増減率
電気使用量 (k W h)	4 3, 0 6 9, 0 1 6	毎年度、前年度比 1 % 以上削減
公用車燃料使用量 (L)	1 9 8, 2 7 3	
公用車走行距離 (k m)	1, 6 6 9, 9 9 2	
燃料 (自動車を除く) 使用量 (L) ガソリン・灯油・軽油・A重油	5 7 6, 1 3 2	
L P G・都市ガス (m ³)	1, 5 4 4, 8 2 3	
水道使用量 (m ³) ※井水含む	6 9 0, 6 0 1	
用紙購入量 (A 4 換算 枚)	6 3, 0 8 8	

なお、公共施設の状況（新築や増築等により著しく電気使用量などの増加）や技術の進捗等を踏まえ、必要に応じて基準値や目標値の見直しを行うこととします。

1 令和 5 年度の取組結果

温室効果ガスの総排出量は基準年度（平成 2 5 年度）比で 9.6%減少となり、目標を達成しました（P. 4「温室効果ガスの総排出量」参照）。

電気使用量や公用車燃料使用量などの具体的取り組みに関する目標は、前年度（令和 4 年度）比で 1 % 以上の削減を目指しましたが、使用量が 1 % 以上減少したものは公用車走行距離、用紙購入量の 2 項目となりました。公用車走行距離は一見、目標を達成していますが、公用車燃料使用量は増加しているため公用車の平均燃費は低下しています。

温室効果ガスの排出原因の 58.4%を占める電気使用量は 0.7%増加し、電気の使用による温室効果ガス排出量も令和 4 年度に比べて増加しました。

その他のエネルギーも使用量が増加しており、温室効果ガスの総排出量の削減目標は達成しているものの、総排出量自体は令和 4 年度と比べて増加しています（P. 4「温室効果ガス排出量の項目別割合」及び P. 5「項目別エネルギー使用量」参照）。

〔電気使用量〕

温室効果ガス排出要因として最も大きい割合を占める電気使用量は 0.7%増加し、目標を達成できませんでした（P. 5「項目別エネルギー使用量」参照）。

〔公用車燃料使用量・走行距離〕

燃料使用量は 1.4%増加し、目標を達成できませんでした。走行距離は 2.2%減少となりました（P. 5「項目別エネルギー使用量」）。

〔燃料・ガス使用量〕

燃料（自動車を除く）使用量は 9.7%増加、LPG・都市ガスの使用量は 5.5%増加し、目標を達成できませんでした（P. 5「項目別エネルギー使用量」参照）。

〔水道使用量〕

水道使用量は 0.1%増加し、目標を達成できませんでした（P. 5「項目別エネルギー使用量」参照）。

〔用紙購入量〕

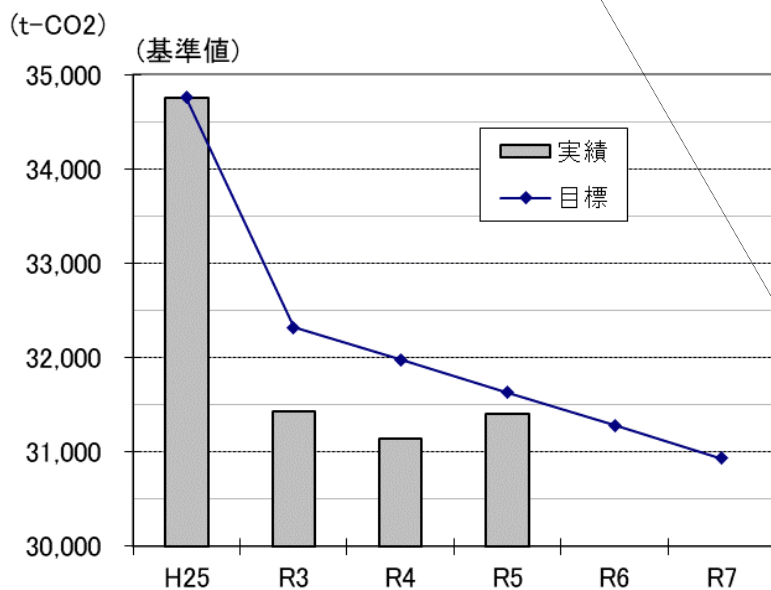
用紙購入量は 5.6%減少し、目標を達成しました（P. 5「項目別エネルギー使用量」参照）。

〔焼却量・石炭コークス使用量〕

焼却量及び、石炭コークス使用量は、清掃工場のみであるため、〈数値目標〉の「温室効果ガス総排出量」には含まれていますが、「●具体的取り組みに関する目標」は設定していません。

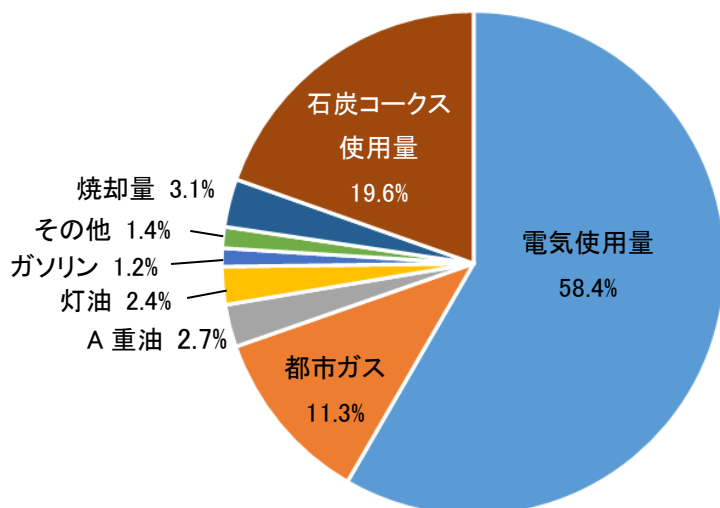
●温室効果ガスの総排出量

項目	基準年度 (平成 25 年度)	令和 5 年度	基準年度比	
			令和 5 年度 削減目標	結果
温室効果ガス総排出量 (t-CO ₂)	34,754	31,407	△9%	△9.6%



項目	温室効果ガス 排出量 (t-CO ₂)
電気使用量	18,331
A重油	853
都市ガス	3,547
ガソリン	366
灯油	763
その他	428
焼却量	967
石炭コークス	6,152

●温室効果ガス排出量の項目別割合（令和5年度）



※焼却量、石炭コークス使用量は清掃工場のみ

※グラフの構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計は100%にならない場合があります。

●項目別エネルギー使用量

項目	前年度 (令和4年度)	令和5年度	前年度比
電気使用量 (kWh)	43,069,016	43,380,654	0.7%
公用車燃料使用量 (L)	198,273	200,975	1.4%
公用車走行距離 (km)	1,669,992	1,632,669	△2.2%
燃料(自動車を除く)使用量(L) ガソリン・灯油・軽油・A重油	576,132	632,028	9.7%
LPG・都市ガス (m³)	1,544,823	1,630,402	5.5%
水道使用量 (m³) ※井水含む	690,601	691,061	0.1%
用紙購入量 (A4換算 枚)	63,088	59,538	△5.6%
焼却量 (t)	57,128	57,143	0.0%
石炭コークス使用量 (kg)	1,997,404	1,940,605	△2.8%

※ 施設別エネルギー使用量前年度比（事務所系施設、事業所系施設、市民利用系施設別）については、複合施設の増加により集計が困難になったため令和3年度以降は掲載しない。

※色凡例

目標達成	目標未達成
------	-------

2 「エコ・アクション」の取組状況

全職員が、チェックシートにより「エコ・アクション」の取組状況を確認し、各職場の実行委員及び推進員が評価を取りまとめました。「個人のエコ・アクション」15項目と、「職場のエコ・アクション」5項目の結果は、以下のとおりです。

令和3年度以降は一部の項目について取組内容を変更しています。各課評価結果については、令和5年度は上半期・下半期ともに全課が「A」評価となりました。

●各課採点集計表

項 目			4 年度	令和 5 年度		
			年平均	年平均	上半期	下半期
節 水・節 電	個人 のエコ・ アクション	①不要な照明の消灯	4. 9	4. 9	4. 9	4. 9
		②OA 機器の節電	4. 8	4. 8	4. 8	4. 9
		③退庁時などの待機電力の削減	4. 9	4. 9	4. 9	5. 0
		④クールビズ・ウォームビズの実践	5. 0	5. 0	5. 0	5. 0
		⑤階段の積極的な使用	4. 9	4. 9	4. 9	4. 9
		⑥時間外勤務の縮減	4. 6	4. 6	4. 5	4. 6
		⑦マイポットの持参	4. 9	4. 9	4. 9	4. 9
		⑧手洗い・トイレ等での節水の励行	4. 9	4. 9	4. 9	5. 0
	職 場	⑨電気ポットの原則使用禁止	4. 8	4. 8	4. 8	4. 8
		⑩空調の温度管理	4. 8	4. 8	4. 8	4. 8
燃 節 料 約	個 人	⑪エコドライブの実施	4. 8	4. 9	4. 8	4. 9
		⑫近距離の公用自転車、徒歩や相乗り実施	4. 7	4. 7	4. 7	4. 8
ごみ減量	個 人	⑬両面印刷・「2in1」機能の活用	4. 7	4. 7	4. 6	4. 7
		⑭必要部数のみの印刷	4. 6	4. 6	4. 6	4. 7
		⑮電子決裁の利用、庁内 LAN・Eメールの活用※	4. 6	4. 6	4. 5	4. 6
		⑯使用済み用紙の裏面利用	4. 5	4. 5	4. 5	4. 5
		⑰使用済み封筒の再利用	4. 8	4. 8	4. 8	4. 8
	職 場	⑱ごみ箱の 1 か所設置	4. 9	4. 9	4. 9	4. 9
		⑲雑がみ・缶等の分別徹底 ※	4. 9	4. 9	4. 9	4. 9
		⑳グリーン購入推進指針に基づいた物品購入 ※	4. 8	4. 9	4. 8	4. 9
ポイント合計			9 5. 8	9 6. 0	9 5. 5	9 6. 5

※ 令和2年度以前は ⑮庁内 LAN・Eメールの活用、⑲雑古紙・缶等の分別徹底、
⑳再生利用品の優先購入 について評価

※ 令和5年度平均値は上半期及び下半期の全課合計を元に算出しているため、
表の上半期・下半期の数値の平均と一致しない場合があります。

＜採点基準＞

点 数	内 容
5	確実に実行している。(100%)
4	ほぼ実行している。(80%)
3	だいたい実行している。(50%)
2	あまり実行していない。(50%未達成)
1	実行していない。
－	該当しない。

●各課の評価結果

評価点	令和4年度上半期		令和4年度下半期		令和5年度上半期		令和5年度下半期	
A	58課	100.0%	58課	100.0%	60課	100.0%	60課	100.0%
B	0課	0.0%	0課	0.0%	0課	0.0%	0課	0.0%
C	0課	0.0%	0課	0.0%	0課	0.0%	0課	0.0%

＜採点基準＞

評価点	評価基準
A	該当するすべての項目が3点以上で4点以上の項目が8以上ある場合
B	A又はC以外の場合
C	2点以下の項目が1つでもある場合